

南三陸 復興まちづくり通信

第18号(平成27年12月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。



南三陸病院完成！14日開院

(南三陸病院・総合ケアセンターの全景)

南三陸町が整備を進めてきた南三陸病院と総合ケアセンターが完成し、11月25日に落成式が行われました。式にはおおよそ150人が出席し、新たな医療と保健、福祉の拠点の完成を祝いました。また、27日には町民を対象にした見学会も行われ、住民約300人が訪れ、待ち望んだ完成を喜びました。

同病院は、内科、外科、小児科など診療科は10科で、病床数90床。震災後休止していた人工透析を来年1月に再開します。総合ケアセンターには、保健センターや子育て支援室、町社協などが入ります。

新病院の開業は12月14日、外来診療は12月16日から開始されます。総工費は約55億8千万円です。

JR 気仙沼線の鉄道復旧を求める住民集会

BRTで仮復旧しているJR大船渡、気仙沼両線の鉄道での復旧を求める沿線住民の集会が11月8日、気仙沼中央公民館で開かれ、同市と南三陸町の住民などおおよそ130人が参加しました。菅原茂市長が「鉄道での復旧を求めて挙げた手を、自ら下ろすことはない。市民と連携しながらJRと話し合っけてゆく」と祝辞を述べた後、第三セクターでの鉄道復活を成し遂げた三陸鉄道の望月正彦社長が講演。「鉄道が廃止されて栄えた地域は無い。沿線自治体の連携や住民のマイレール意識の醸成、車社会と公共交通とのバランスを取ることが大切」と訴えました。



(「鉄道実現への先人の努力や歴史と向き合い、鉄道での復旧を訴えていく」とのアピールを採択した集会)

枳沢公営住宅が「コミュニティづくり賞」を受賞

枳沢復興公営住宅の自治会（高橋洋治会長、20戸）が、平成27年度みやぎ花のあるまちコンクール「災害公営住宅コミュニティづくり賞」を受賞しました。高橋会長を中心に、隣接する仮設住宅や近隣住民とも連携を図り、お茶っこ会などを催し、孤立を防いでいる活動が評価されました。（写真はお茶っこ会）



高台移転予定者が先進事例を視察

伊里前まちづくり協議会が主催する「高台移転予定者のための先進事例視察研修」が11月15日に行われました。研修には、「中学校上」、「枳沢」の両団地への移転を希望する住民20人が参加。住宅建設や入居が進む町内の寄木・葦の浜団地（写真）や気仙沼市の小泉団地などを見学しました。



志津川で公営入居予定者の「くらしの懇談会」

志津川で整備が進む東地区、西地区の復興公営住宅の入居予定者を対象にした「くらしの懇談会」が11月14日・15日の両日、役場会議室で開催されました。入居までの流れを理解してもらい、知り合いづくりの機会、意見交換の場とするのが目的です。



（役場大会議室で行われた懇談会の様子。工事の進捗状況などについて説明が行われました。）

このうち、14日午前中に開かれた東④街区の懇談会には住民23人が出席。「お茶っこ」とあいさつ、自己紹介などの後、役場から工事の進捗状況について報告。不安なことや疑問点について発表したほか、中央広場について意見を出し合いました。

東④街区は今年10月に着工しており、完成は来年12月、29年の1月～2月に入居開始の予定です。



（東地区復興公営住宅①街区完成イメージ図。この図は計画中のもので、実際と異なる場合があります。）

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、トヨタ財団、大阪コミュニティ財団等の助成金を受けて、活動を行っています。